

- 協働学習
- 教師説明型
- 児童生徒自主学習型

実践タイトル デジタルカメラを用いて自分のフォームを再確認

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

デジタルカメラ

・自分が回転する様子を動画で撮影することで、後で自分の姿を見直せるようにする。撮影することで、撮影者も演技者の動きを意識させる。

動画

・台上前転の様子をデジタルカメラで見せることで、自分の回り方を見て、体の使い方を意識させるため。きれいに回れる姿を見せてイメージ化。

参考にしてほしいポイント

- ・展開の場面でデジタルカメラを使用することで、「自分の姿を見てみたい」「うまく回れている姿をとってもらいたい」という学習への意欲を高める。
- ・DVDレコーダーとテレビとカメラの設置は時間がかかるので、手軽に持ち運びができるデジタルカメラを使う事で準備や設定の時間を減らし指導の時間を確保する。また、量も確保しやすいので、多くの児童が見ることができる。
- ・撮影者がいることで、撮影した児童と撮影された児童の会話が自然に発生する。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 7	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けて準備をする。 ・展開に関係する運動をし、準備体操をする。 ・学習課題を知る。 	
展開 7 40	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した台上前転を上手に回るコツを意識しながら、自分のレベルに応じた場で取り組む。 ・デジタルカメラを使用して、さらに上手に台上前転するには、どこに気を付けたら良いのか考えながら回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラ（動画機能） （写真1・2）
まとめ 40 45	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を明確にして、学習の振り返りをする。 ・安全に気を付けて、片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラ（動画機能） （写真3）



写真1：デジタルカメラで動画を撮影する



写真2：撮影した動画を見ながらフォームを確認



写真3：データがあれば教室でも確認ができる

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・機器を使用することで、台上前転に対する意欲も高まり、レベルに応じて、少しずつ難しいレベルでの台上前転にチャレンジする児童が増えた。
- ・撮影された方が意識をするとともに、撮影した側も回る一瞬を意識して見ることで、友だちに対して根拠を明確にしたアドバイスをすることができた。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全について思考・判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影された姿を見ることで、台上前転のポイントを意識して回ることができた。 ・カメラがない時と比べ、撮影した児童と撮影された児童との会話が aumentata.
-------	--	---

実践の手応え

- ・デジタルカメラを使用することで撮影された側が上手になるだけでなく、撮影者側が回るときのポイントを意識し集中して見ることができ、お互いがポイントとなる動きを意識することができた。